

### 第3回 圏域地域医療構想策定委員会

圏域	中播磨圏域
日時	平成27年12月2日(水)13時30分～15時45分
場所	姫路市医師会館 5階大ホール
司会	空地会長(姫路市医師会長)
出席者	欠席:藤本委員、河原委員、塩木委員、岩見委員、山田委員、大野委員 代理人が出席:山名委員、中川委員 上記以外は別紙委員名簿のとおり本人出席
議事次第内容	1(報告) これまでの議論の整理 2(報告) 中播磨圏域における地域医療体制等について 3(報告) 地域医療介護総合確保基金について 4(報告) 在宅医療提供体制の充実について 5(報告) 今後の予定について
結論	・中播磨圏域の医療提供体制及び在宅医療・介護等について現状分析を行い、課題の整理・共有を行った。
主な意見・ 質疑応答	【意見】 ・サービス付高齢者住宅は、施設としての制約がないので、質の面で苦慮しているところがある。 ・必要な介護職員が確保できない。また、介護職員の研修体制は、必ずしもしっかりしているわけではないので、研修制度を整えることも重要である。 ・基金事業で、看護職の研修体制(Eラーニング)についても考えてほしい。 ・サービス付き高齢者住宅等も含め、医療や介護の資源・情報が、一つのシステムでタイムリーに全て把握できるシステムを姫路市として、中播磨として、全国に先駆けて、基金で作ってほしい。 ・在宅資源の全般的な把握も今後必要でないか。 ・訪問介護事業者は、半分以上が株式会社であり、いろいろな業態があるので、行政が管理監督するというよりも、行政と民間がパートナーシップを図りながら、高齢者の介護問題についてアプローチしていく必要がある。 ・どんな在宅医療や介護が必要なのか、終末をどう迎えたいのか等の患者・家族のニーズを調べて、患者・家族に沿った医療や介護のあり方を考えていく必要がある。
次回までの 課題	構成員からの意見を反映させ、地域医療構想(素案)の修正作業を行う。